

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

きらりNet

平成26年12月12日

第49号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

今年度、本校で導入を進めたICT機器の活用に関する3つの事例を紹介します。

「秋田県特別支援学校ICT活用教育推進事業」として、10台のタブレット端末（iPad）が昨年度導入されました。タブレット端末の長所を生かしながら、児童生徒の様々な教育的ニーズに応えられるように、活用方法の検討やアプリケーションの選択、機器の調整などに取り組んでいます。教科学習では、教科書の写真や図表等の資料を拡大できるようにアプリ「CameraVision」を活用したことでポイントを絞って資料を読み取ることができ、思考を深めるきっかけとなりました。また、自立活動では、学習発表会で大きな声でせりふを言えるようにアプリ「Noise level」を活用したことで、自分の音量を視覚化することができ80db程度の声から95~100db程度の声の大きさになりました。このように、様々な学習場面で幅広く用いられています。



来年の1月29日（木）には、がかがやきの丘3校と天王みどり学園が取り組んできました本事業の報告会を行います。

マイクロソフト社から発売されているゲーム機Xboxの周辺機器であるKinectセンサーを利用して対象者の体の動きを観察し、その動きを捉えてスイッチ操作を行うOAK^注を使った実践を行っています。この実践では、対象生徒の頭部の動きをKinectセンサーがとらえ、その信号がパソコンに伝わることでプレゼンテーションソフトなどを動かしています。



^注 Observation and Access with Kinect の略。一般的に“オーク”と呼ばれています。

※この事例は公益財団法人斎藤憲三・山崎貞一顕彰会から研究助成を頂いて取り組んでいます。

高等部3年生男子生徒が国語の学習でタブレット端末（Android）を使用する実践を行いました。教師から質問された物語の内容をVOCAアプリケーション「たすくコミュニケーション」を活用して答えました。アプリケーション上の絵カードの中から伝えたい事柄を選び、タップすることでタブレット端末から音声流れ、意思表示ができました。絵カード+音声という形で選択することで、平仮名から漢字の絵カードになっても的確に選ぶことができました。VOCAアプリケーション「たすくコミュニケーション」では絵カードを簡単に追加できるため、生活場面に合わせて絵カードを増やしていくことができ、活用の幅が広がってきています。



※この事例は東京大学先端科学技術研究センターとソフトバンクグループによる「魔法のプロジェクト」に研究協力校として参加して実践を行っています。

「魔法のプロジェクト」につきまして、2013年度の「魔法のランププロジェクト成果報告書」がウェブサイトに掲載されています（<http://maho-prj.org/?p=637>）。全国の70校以上のプロジェクト参加校から障害を問わず様々な実践事例が紹介されています。先行事例から活用のヒントを得ることができると思います。

【ご注意ください】閲覧は自由にできますが各資料の著作権は各学校にあります。著作権者に無断で配布したりインターネット上に掲載したりするなどの二次利用はご遠慮ください。



秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域の友達と触れ合う居住地校交流

住んでいる地域で、同年代の児童生徒との交流を通して、互いを知り、社会性や豊かな人間性を育むために「居住地校交流」を行っています。今年度は、小学部5名の児童から希望があり、居住地の小学校で、音楽や特別活動などの授業に参加したり、校外学習と一緒に参加したりして、地域の友達と交流しています。



保戸野小学校の音楽の授業に参加し、一緒に歌ったり、リズム遊びをしたりしました。手をつないで音楽に合わせてリズムをとり、楽しく触れ合いました。互いをよく見たり、言葉を掛けられたりすることが増えました。



日新小学校で開催した大森山動物園でのオリエンテーリングに参加しました。2年生と4年生のグループに入り、友達と一緒に動物を探して、クイズの答えを考えながら触れ合いました。地域でもバス停で会うと言葉を掛け合ったりできるようになりました。

～キャリア教育研修会のお知らせ～

日 時：平成27年1月7日（水） 13：30～15：30

場 所：秋田県立きらり支援学校 小体育館

講 師：渡邊 昭宏 先生

講師紹介～神奈川県内の特別支援学校で教鞭をとられ、2013年3月に県立金沢養護学校の副校長でご退職されました。現在は「重度重複及び重症心身障害の児童生徒にも成り立つキャリア教育」についての執筆、講演を中心に活動されています。

参加希望の方は、下記の佐藤忠浩まで御連絡ください。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>



次号は2月13日発行予定です。